

2019 年度 桐朋学園大学音楽学部音楽学科
音楽学専攻課程 入学試験問題[作文]

● 次の文章を読んで、下記の問題に答えなさい。

多くの文化の音楽は、そして西洋においても近代以前のほとんどの音楽は、音だけを純粹に取り出して聴くような聴き方を前提としてつくられてはいなかった。それらは時には祭りや葬式などの典礼のコンテクストの中で出される音であり、時には農作業などの日常生活と不可分な形で出される音なのであって、そういう意味では自律した作品ではなく、そこからコンテクストを捨象して音だけを切り出すことは意味をなさない行為だったのである。しかしレコードや CD によって音楽を聴くという行為は、必然的にわれわれがそういうコンテクストを捨象し、それらを自律した作品として聴くように強制する。それは言うてみれば、西洋的な自律した音楽作品の概念をもって世界のあらゆる文化の音を切り揃えてしまうということなのであり、その意味でこれらのメディアは西洋の近代文化の枠組みを世界に押し付ける役割を果たしているのである。

- ① 「祭りや葬式などの典礼」や「農作業などの日常生活」などにおけるコンテクストと音楽の関係について、具体的な例をひとつあげて説明しなさい。
- ② ある種の音楽から「コンテクストを捨象」した際の問題点について、なるべく具体的な例を挙げて説明しなさい。
- ③ 西洋の近代音楽、たとえばベートーヴェンの交響曲にはコンテクストが付随していないのだろうか？あなたの考えを述べなさい。